

第4回『びほろ』みらいまちづくり会議「基本目標」について【総務部会】

交通安全 防犯 公共交通 地域の情報化 防災 消防、救急 陸上自衛隊美幌駐屯地 国内外交流 人権、男女共同参画 住民自治、コミュニティ 住民参加、協働 行財政運営 広報、広聴 広域行政
--

人を創り、**地域力**を高めるまちづくり

- ・事故や犯罪、災害などから町民の命や生活を守るとともに、情報網や交通手段の利便性を高め、超高齢化社会でも安全で便利に暮らせる環境をつくれます。
- ・次代を見据えながら若い世代の力や意見を引き出し、自治会力や地域コミュニティの機能を高めていきます。
- ・町民と行政がそれぞれの情報を発信・共有し、ともに知恵を出し合いながらまちの課題解決や活性化に取り組んでいきます。

【重視すべき視点、考え方、キーワード】

- 人づくり
- 情報を共有する
- 自治会力を高める
- 若い世代の力を引き出す。活かす。
- 集まり、調和し発信するまち
- 超高齢化社会をのりきる

【漢字】

創

【音】ソウ

【訓】つくーる、はじーめる、きず

【例】創意、創造、独創、創生

【選定理由】

- ・人を創る、和を創る、育を創る、協調性を創る、愛を創る、全てに協調する漢字

第4回『びほろ』みらいまちづくり会議「基本目標」について【民生部会】

環境保全 環境美化 ごみ処理、リサイクル 墓地・霊園、火葬場 保健 医療 地域福祉 子育て支援 高齢者福祉 障がい者福祉 社会保障
--

自然の美しさや暮らしの安心を、みんなで護りあうまちづくり

- ・美幌の自然を大切にまもり次代に引き継いでいくとともに、環境に負荷をかけないように配慮しながら廃棄物の処理等を行います。
- ・子ども、大人、高齢者、障がい者それぞれが抱える日常生活での不安や孤独感などを、住民の理解と協力を得ながら解消し、だれもが安心して暮らせる、人にやさしいまちをつくりま

【重視すべき視点、考え方、キーワード】

- 高齢者が安心して暮らせるまち
- 介護予防、生活機能の維持
- ボランティア支援
- 障がい者にやさしいまち
- 安心して子育てができるまち
- 子ども、大人、高齢者、障がい者が共存できるまちづくり
- ゴミの分別、リサイクル

【漢字】

護

【音】ゴ

【訓】まもーる、まもーり

【例】介護、養護、擁護、援護、保護

【選定理由】

- ・福祉や、環境にもつながる一文字
- ・自然の中で仲良く安心して暮らせるまちを目指すための一文字

第4回『びほろ』みらいまちづくり会議「基本目標」について【経済部会】

農業 林業 商工業 中心市街地 地場産品 観光、交流 企業誘致、起業支援 雇用促進、勤労者福祉 消費生活 新エネルギー
--

まちの資源や持ち味を、活力に換えていくまちづくり

- ・産業基盤の安定を図るとともに、経済波及効果や雇用の創出につながる取り組みを積極的に進め、より多くの人が働けるよう産業の裾野を拡大していきます。
- ・美幌町内で働きたい、起業したいという人の希望が実現できるよう支援するとともに、楽しく働ける環境整備を促進します。
- ・美しい自然、新鮮な農産物や食、交通の要所という恵まれた立地など美幌の持つ特長を観光振興でもっと活かし、行ってみたいまちにします。

【重視すべき視点、考え方、キーワード】

○創意工夫

○人の輪

○次の10年をつくる

- ・企業が伸びる町（農商工業の活性化、充実した起業支援）
- ・自然豊かな町（山林を中心とした自然環境の保全）
- ・行ってみたい町（美幌峠を補完する観光スポット、美しい自然、娯楽施設）
- ・活気ある心豊かな町（異業種交流、他町村との広域交流）
- ・働きやすい町（多岐にわたる業種、求人→雇用創出）
- ・美味しい町（安心安全、地産地消、新鮮な農産物、特産品の提供）
- ・優しい町（みんなが楽しく働ける環境づくり、循環バスの整備）

【漢字】

活

【音】 カツ

【訓】 いーきる、いーかす

【例】 活動、活力、活発、活性

【選定理由】

- ・活性化、活気ある。
- ・新鮮なという意味もある。
- ・美幌に喝（活）を入れたい。

第4回『びほろ』みらいまちづくり会議「基本目標」について【建設部会】

土地利用 市街地整備 公園、緑地 都市景観 住宅、宅地 道路網 除排雪 上水道 排水処理 治山・治水 ユニバーサルデザイン
--

住みやすく、人が集まる基盤をつくるまちづくり

- ・コンパクトシティとしての良さを更に高めるため、中長期的な視点を持ちながら、住宅や道路の整備を進めるとともに、施設の更新や有効利用、集約化に向けて取り組みます。
- ・環境保全に留意しつつ、まちなかのうるおい空間や景観をつくるとともに、上水道や排水処理を整備管理します。

【重視すべき視点、考え方、キーワード】

- 老朽化への対応
- 集約
- まちなかに人が集まる施設
- 有効利用
- 更新（古いものは更新していく）

【漢字】

集

【音】 シュウ

【訓】 あつーまる、つどーう

【例】 集合、集約、集結、集団、集落

【選定理由】

- ・施設を集約し町をコンパクトにまとめていく。
- ・人やものが集まり、にぎわいを取り戻す。

第4回『びほろ』みらいまちづくり会議「基本目標」について【教育部会】

幼稚園、学校教育 生涯学習 芸術・文化、文化財 スポーツ 青少年 食育

夢を育む体験！あたたかい人をつくるまちづくり

- ・「大人が変われば子どもも変わる」を基本に、子どもへの関心を町全体で高め、学びや^{チャレンジ}体験、スポーツ活動などを通じて、子どもの心身の成長を地域で見守ります。
- ・美幌にある自然や文化、食、産業、施設などを活かして、子どもからお年寄りまで楽しく元気に学び活動できる機会をふやし、学びや活動の成果が個々の生きがいや地域づくりの力となるようにします。

【重視すべき視点、考え方、キーワード】

○夢を育む^{チャレンジ}体験

○温かい人づくり ～大人が変われば子どもも変わる～

- ・人が育つまち（豊かな経験を通じ）
- ・子どもからお年寄りまで元気に「学べる」まち
- ・温かい気持ちを持つ人作り。大人が変われば子どもも変わる
- ・体験学習で「^{カラダ}体」で学ぶ！！
- ・人作り。無関心をなくす
- ・学力重視型から体験、見学を取り入れた学校教育へ。
- ・スポーツ→運動能力の向上、少年団の育成、指導者の育成。早ければ早い方が良い（幼児、小学生）
- ・教育、通学（安全）、スポーツ、芸術環境の充実
- ・小一中一高の連続性 ①学力の向上 ②美幌の良さを知る教育
- ・学びたくなる学校（通いたくなる）
- ・美幌でスポーツ、文化を学ぶ環境づくり、スポーツ、文化を通じて美幌を愛する心の育成
- ・頼れる町（預かり、放課後・・・）
- ・既存組織や一般公募などによる生涯学習などのイベント開催、推進組織の確立
- ・夢を育むまち（学び、夢を現実に！）
- ・体験学習ができるまち
- ・農業体験、学校給食を通じた食育
- ・少年団など指導者、スポーツ団体への補助

【漢字】

育

【音】イク

【訓】そだ一つ、そだーてる、はぐく一む

【例】教育、発育、育児、育成

【選定理由】

- ・夢を育むチャレンジ。
- ・大人と子供が共に育て温かい人づくりを目指していく。